

当事者の思いをつなぐために必要なこと

平成 27 年度から、地域子育て支援拠点では利用者支援事業への取組がスタートします。

地域子育て支援に関わる私たちが全てのこどもを支えるために、

これまで、専門職・専門機関の領域と捉えられがちだった障がい支援の分野についても、
具体的に知り、つながることが必要だと考えます。

今回の勉強会では、身近にある障がい支援の取組を持ち寄り、学び合い、
障がい当事者であり、支援者でもある方からのお話を伺って、地域子育て支援に関わる者にと
って必要な障がい支援の視点などについてみなさんと考えたいと思います。

★日 時 2015 年 2 月 9 日 (月) 9:45~11:40 受付 9:20~

★会 場 横浜市社会福祉協議会 8A 会議室

中区桜木町 1-1 横浜市健康福祉総合センター/JR 京浜東北・根岸線 横浜市営地下鉄 桜木町駅下車

★お話し: 笠羽 美穂さん プロフェッショナル心理カウンセラー

坂本 寿子さん 親と子のつどいの広場 夢ひろば施設長

進行: 水谷 裕子さん コミュニティ心理カウンセラー

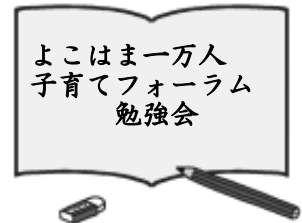
NPO 法人アーモンド コミュニティ ネットワーク理事長

★対象 よこはま一人子育てフォーラムメンバー、その他関心ある方

★定員 40 名/保育: 2 歳~未就学児 若干名

(事前予約要・1 人 500 円・きょうだい 2 人の場合 800 円)

★申込 メール lmannin@bi-no.org 問合せ (港北区地域子育て支援拠点どろっぶ) 畑中 TEL045-540-7420 FAX045-540-7421



笠羽 美穂さん

1983 年生まれ。体重 960g の未熟児で生まれたため手足にマヒが残り、車いす生活になる。2006 年 1 月から半年間、福祉を学ぶためデンマークへ短期留学。2006 年 9 月青年海外協力隊員としてモンゴルへ短期派遣。2010 年 7 月よりかながわ身体障害者福祉ネットワークのピア・カウンセラーとして活動中。NPO アーモンド コミュニティ ネットワーク会員。著書 ピア・ボランティア世界へ (現代書館)

坂本 寿子さん

よこはま一人子育てフォーラム 2012 年より親と子のつどいの広場事業を受託運営 (磯子区杉田)。自身の子育て経験をきっかけに「地域で取り組む 発達障がいプロジェクトいそごキャラバン」を 2012 年に立上げる。つどいの広場を運営しながら、コーディネーターとして、地域の人と一緒に、発達障がいの理解啓発のための出前講座やサポーター養成講座、保護者のおしゃべり会の活動に取り組んでいる。

水谷 裕子さん

よこはま一人子育てフォーラム 心理カウンセラーとして 16 年間従事し、一人以上に傾聴を教える。2012 年「傾聴活動」を土台とした NPO アーモンド コミュニティ ネットワークを設立し都筑区北山田「拠点あ・る・く」にて、横浜市都筑区寄り添い型学習等支援事業を受託運営する。青少年・不登校・多文化・障がいの問題に取り組み、会員である笠羽さんとは「傾聴と障がい」セミナーを開催している。

2015/01/19

よこはま一人子育てフォーラム勉強会 事前アンケート (FAX045-540-7421・畑中行き)

区 所属団体 名前

★区内に自主訓練会・障がい児のサークル、連絡会等がいくつありますか。

★そのグループと連絡をとることがありますか

定期的にとりあっている

用事があるときに連絡をすることがある。

連絡をとったことがない

★自主訓練会・障がい児のサークル、連絡会等の活動に参加、見学をしたことがありますか

定期的に参加する

用事があるときに参加する

見学をしたことがある

いったことがない

★障がいに関する相談があったときは、どうしましたか。

(記述式・差支えない範囲で)

★ひろば、拠点で障がいに関してどんな取組を現在行っていますか。今後、どんなことに取り組みたいと思っていますか。

現在の取り組み：

今後取り組んでみたいこと：

★その他（例えば、ひろば、拠点で考える障がい児支援にとって、今これが必要だと考えることなど）、自由に書いてください。